

令和 3 年度第 1 回 柏市保健衛生審議会 母子保健部会での議事について

1

下記の日程で令和 3 年度第 1 回母子保健部会を実施し、
「柏市母子保健計画中間評価（案）」について、ご意見をいただきました。

修正すべき点としてあげられた意見

- 調査結果について、データから言えるのは、“因果”ではなく“関連”が本来のため、示し方が的確ではない。
- 関係団体等の役割は、「関係団体等は」と、関係団体を主語にするのが良い

2

計画の中に位置づいていることを確認したご意見

- 乳幼児健康診査の未受診率の悪化は課題。受診率を向上させるとともに、状況把握やアウトリーチなど未受診家庭への支援体制の強化を。
- 行政における母子保健分野のマンパワー確保・人材育成子育て支援施策に加え、各医療機関内における保健指導、助産師外来、ハイリスク妊産婦対応の充実を図ることは課題と考える。
- 虐待についてはもっと大きく取り上げるべき課題と思う。
- 妊婦の生活習慣・食習慣の大切さの指導強化を。子どもの生活リズムとの関連もあるため対応を。
- 十代の喫煙率と飲酒率のベースラインが高かったこと、飲酒率の中間評価は、改善されたものの高いことに驚くとともに対応の重要性を認識した。
- 「ヘルスプロモーションの理念に基づく取組の推進」がとても大切。関係団体等や市民と共に、取り組みの推進する仕組みづくりを。
- デジタル機器を活用した情報提供、対面での相談などを積極的に推進を。
- 地域での活動を通じた支援強化に加えて、オンラインやステイホームでも出来るサービス、取組、支援を積極的に行い、受け口を広くしていくことも大切。

今後取り組むべき内容についてのご意見

- 支援体制の強化については、行政だけでは限界あると思われるため、乳幼児の所属機関や医療機関、訪問してもらえる民間団体への委託など関係機関との連携を。
- アウトリーチ型の産後ケアも検討してほしい。
- 妊産婦・乳幼児を対象とした福祉避難所の拡充を。
- 柏市の子育て世代にとっての魅力をアピールし、安心感を与えることも大切では。
- コロナ禍で関係団体として活動できず歯がゆい。災害についても関係団体として何ができるか検討したい。
- 計画の取り組み成果を正しく把握するためにもアンケート回収率向上を。